

編集・発行：天神川流域会議事務局 〒682-0018 倉吉市福庭町1-18 国土交通省倉吉河川国道事務所調査設計第一課内  
Tel 0858-26-6221 Fax 0858-26-8200 HP <http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/tenjin/> Email [kurayosi@cgr.mlit.go.jp](mailto:kurayosi@cgr.mlit.go.jp)  
ホームページは、ポータルサイトで「天神川流域会議」と検索すれば簡単にアクセスできます。

## 天神川流域観察会を行いました

秋晴れのもと、天神川流域観察会を平成20年10月19日(日)に行い、15名の方に参加いただきました。

天神川流域観察会は、国土交通省の行っている様々な事業について理解を深めていただくことを目的として、昨年まで行っていた「天神川流域ウォーク」を改めて実施したものです。

初回のメニューは「砂防」。小鴨川流域での砂防施設を中心に、周辺の歴史的な施設を見学しました。

### 砂防とは？

大雨で山が崩れたり、土や石が水とともに流れ出たり(土石流)することがあります。

その結果、ふもとの家々が被害にあったり、下流の川に土砂がたまって水が流れにくくなることで氾濫被害が生じることがあります。

これを防ぐための様々な方法を「砂防」と呼びます。天神川水系では主に砂防堰堤(砂防ダム)を建設しています。

### 砂防堰堤？

土砂が下流へ一気に流れないように、一時的に蓄えるための施設です。近年は、平常時の土砂移動の妨げにならないように「切り欠け(スリット)」を設けるようになっています。



天神川の花  
タニウツギ



## 小鴨川で自然再生の実験をしています

昔の小鴨川  
(昭和40年代以前)

打吹山



今の小鴨川

打吹山

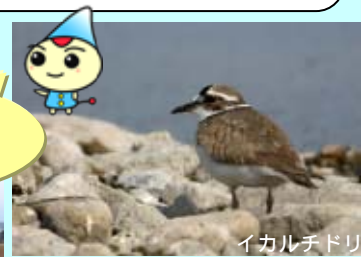


平成18年度から小鴨川の中流部(倉吉市若土地先)で、昔の礫河原を再生する事業を地元や学識者の方々のご意見を伺いながら行っています。

平成19、20年で小鴨川の8k~9kの約1kmを試験整備区間として、樹木伐採や掘削を実施しました。今後は礫河原が維持できるかどうかモニタリングをして検証する予定です。



礫河原で卵を産むイカルチドリがもどってくるといいな



イカルチドリ



懇談会現地視察状況

# 天神川・小鴨川・国府川で河川内の掘削工事を行っています

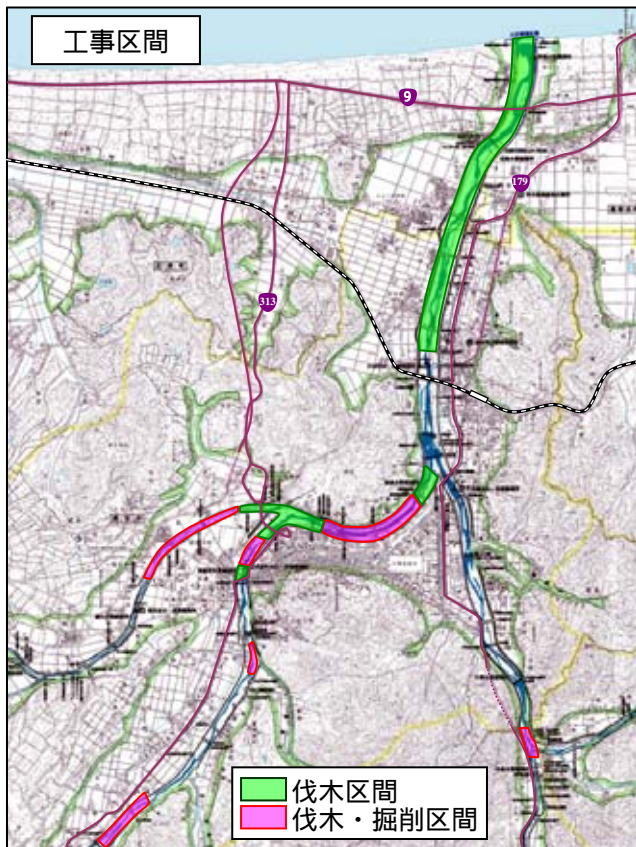
国土交通省では、天神川、小鴨川及び国府川において、河床掘削工事を行っています。

近年、天神川流域では目立った洪水が起きていません。このため、上流から流れてきた土砂が中下流部にたまるほか、樹木が林のように育っているような箇所がありました。

このような箇所では、大雨の際に川の水が流れにくくなり、水位が上昇することで氾濫被害を大きくするおそれがあります。

そこで、土砂の堆積や樹木の繁茂が特に著しい区間について、これらを取り除く工事に着手しました。

倉吉市若宮  
天神川 三徳川合流点付近  
平成20年10月30日撮影



工事は3月末まで行います。

工事期間中は周辺をダンプトラックなどが走行し、ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

## 伐木・掘削している区間

倉吉市宮川  
小鴨川 三徳寺橋より上流  
平成20年8月27日撮影



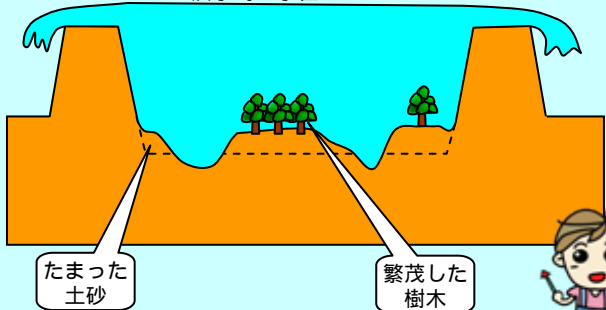
平成20年11月26日撮影



## 整備効果のイメージ

工事前

洪水時の水位



工事後

洪水時の水位

